

## 1 施設の概況

西新井栄荘は改築後 18 年を経過し、平成 27 年度は外壁の大規模改修、平成 28 年度は全居室の給湯器や共用部電灯設備の交換を行い、利用者が快適な生活を送れるよう施設整備を進めてきた。

利用者の現状として、近年は、夫や親・子供等からの暴力を理由とする入所が年間で最も多く、次いで立ち退きを理由とする入所も依然として多い。また、世帯種別では、女性単身の利用者が年間利用者の半数以上を占めているほか、若年層の母子世帯や高齢者の入所も増加している。世帯が抱える課題は、多様化し、精神疾患や暴力被害者の安全確保、子の養育困難等、関係機関との連携が不可欠となっている。

これらの状況を踏まえ、西新井栄荘では、施設独自のマニュアルづくりに取り組み、多様化する利用者への更なる効率的なサービスの提供が可能となるよう取り組んでいる。

平成 29 年度は、施設マニュアルの拡充及び見直しや利用者の現状に合わせた行事の実施、地域社会資源の更なる活用を進め、事業を行っていく。

## 2 主要目標と取組

### (1) 安心・安全な施設運営

安否確認の徹底、防犯カメラの活用、併設施設との協力により、利用者が安心して生活でき、災害時にも対応ができる施設づくりを目指す。

### (2) 利用者の傾向を踏まえた個別支援の実施

精神疾患を抱える世帯や、増加する高齢者、乳幼児を抱える若年層の母子世帯等の傾向を踏まえ、個別の支援を実施する。

### (3) 行事を活用した利用者支援の実施

より幅広い層が参加できるよう、利用者の実情に合わせて、新たな行事を企画・実施する。

### (4) 施設マニュアルの活用による適切なアセスメント及び支援の実施

施設マニュアルを活用した支援を実践し、計画的にマニュアルの拡充及び見直しを行う。

### (5) 年間入所目標（対定員利用率）

定員	29 年度目標	28 年度目標	28 年度実績(見込)
32 世帯	100 世帯 (312.5%)	100 世帯 (312.5%)	100 世帯 (312.5%)

## 3 管理運営

### (1) 日常の援助

#### ① 利用者の実態に合わせた安否確認の徹底

日々のマグネットによる安否確認のほか、高齢者や乳幼児を抱える世帯へは定期的な声かけによる安否確認により生活状況を把握する。

#### ② 入所時の適切なアセスメントの実施及び計画的な支援の実施

入所時に利用者の課題を適切に把握し、利用期間を見据えた計画的な支援を行うため、アセスメントシートの見直しを行う。

#### ③ 利用者の実態に即した行事等の実施

ボランティアも活用しながら各季節行事や施設内での活動を通じて、基本的な生活習慣の確立、精神的な安定に向けた支援を行う。

#### ④ 関係機関との更なる連携の強化

精神疾患や増加傾向にある暴力被害から避難している世帯や若年層の母子世帯等に対し、区の妊産婦支援係やこども支援センター・警察・学校等、関係機関との連携を更に密にし、利用者を必要な社会資源へ繋げる。

⑤ 利用者の声を反映させる施設運営

利用者懇談会（年4回）、利用者アンケート（年2回）を実施するほか、入所時等に苦情解決システムについて利用者へ周知を徹底する。

(2) 自立促進・転出促進

- ① 定期的な支援の進捗状況の確認により、転出までの期間を見据えた計画的な支援を行う。
- ② 転出支援 住宅相談員や地域の不動産業者と連携し、利用者が円滑に転出できるよう支援を行う。また、公営住宅の募集についても随時案内を行う。
- ③ 就労支援 東京ジョブステーションを活用した就労支援及び自立に向けた技能習得のための情報提供を行う。

(3) 諸行事

- ① 定例行事 子供学習会（週1回）                      カウンセリング（月2回）  
健康・栄養相談（月2回）                      クリーンデー（月1回）  
ぬり絵会（月1回）                              犯罪被害者支援講習会（年4回）  
利用者懇談会（年4回）
- ② 季節行事 5月 子供の日子供会                      7月 七夕祭り・花火鑑賞会  
10月 秋祭り                                      12月 クリスマス会  
3月 ひな祭り

(4) 消防・防災等

- ① 入所時及び利用者懇談会において、避難経路・災害時の避難場所の周知徹底を行う。
- ② BCPの見直し（年1回）及び自衛消防訓練（年4回）を実施し、利用者及び職員の防災意識の向上を図る。
- ③ 防災用品の点検・補充及び見直し（年1回）により災害への備えを行う。

(5) 職員会議等

- ① 職員の引継ぎ（毎朝）、管理人との引継ぎ（朝夕）、職員会議（月1回）を通じた情報共有を徹底する。
- ② 関係機関との連絡会へ定期的に参加し、必要な時にはケース検討会を実施する。
- ③ 職員の研修参加を促進し、支援の質の向上を図る。

4 保健衛生・環境整備

(1) 保健衛生

- ① バックアップセンターの健康・栄養相談（月2回）を活用し、利用者の健康管理を推進する。
- ② 地域の保健師と連携し、予防接種受診等を含めた乳幼児の育児支援を推進する。

(2) 環境整備

- ① 業者委託も活用した退所後速やかに入所可能とするための居室及び施設環境の整備
- ② 防虫消毒（年2回）、受水槽清掃（年1回）、雑排水管清掃（隔年）
- ③ 施設内外の巡回及び防犯カメラによる不審者対策等の徹底

5 施設の社会化（地域交流事業及び施設機能強化推進事業）

- (1) 地域貢献・地域住民との交流を目的として、合築の住区センターと共催で秋祭りを実施する。
- (2) 施設で実施する行事（子供学習会・ぬり絵会・花火鑑賞会等）にボランティアを活用するほか、近隣へ転居した利用者OB等の参加を促進する。
- (3) 要保護児童対策協議会、DV被害者支援関係機関連絡会、子育て支援ネットワーク連絡会等へ参加し、地域の関係機関との情報交換及び協力関係づくりを進める。
- (4) 施設の利用率向上及び関係機関への施設の紹介のため、施設見学会を開催する。